

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年12月13日(2018.12.13)

【公表番号】特表2017-537614(P2017-537614A)

【公表日】平成29年12月21日(2017.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-049

【出願番号】特願2017-524444(P2017-524444)

【国際特許分類】

A 2 3 K 50/40 (2016.01)

A 2 3 K 40/25 (2016.01)

A 2 3 K 20/163 (2016.01)

【F I】

A 2 3 K 50/40

A 2 3 K 40/25

A 2 3 K 20/163

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月5日(2018.11.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0070

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0070】

#### 結論

本発明による製品は、消化性および美味しさに悪影響を及ぼさずに、イヌに満腹感を誘発する。

以下、本発明の好ましい実施形態を項分け記載する。

#### 実施形態1

ペット動物における満腹感の達成に使用するための押出包装ペットフード製品であって、15%超から30%の水分、11%から45%までの炭水化物、脂肪およびタンパク質、0.7超のAw、並びに250から300g/lの範囲の密度を有する押出包装ペットフード製品。

#### 実施形態2

押出後に添加される成分を含まない、実施形態1に記載の押出包装ペットフード製品。

#### 実施形態3

20%から27%の水分を有する、実施形態1または2に記載の押出包装ペットフード製品。

#### 実施形態4

15%から20%の水分を有する、実施形態1または2に記載の押出包装ペットフード製品。

#### 実施形態5

約18%の水分を有する、実施形態1または2に記載の押出包装ペットフード製品。

#### 実施形態6

前記Awが0.8より大きい、実施形態1から5いずれか1つに記載の押出包装ペットフード製品。

#### 実施形態7

前記満腹感の達成における使用が、体重増加の防止および/または体重維持を含む、実施形態1から6いずれか1つに記載の押出包装ペットフード製品。

実施形態 8

飼いイヌまたは飼いネコにおける満腹感の達成に使用するための、実施形態 1 から 7 いずれか 1 つに記載の押出包装ペットフード製品。

実施形態 9

前記炭水化物が 1 3 から 1 7 % のレベルで存在する、実施形態 1 から 8 いずれか 1 つに記載の押出包装ペットフード製品。

実施形態 10

少なくとも一部が過熱蒸気の存在下で製造される、実施形態 1 から 9 いずれか 1 つに記載の押出包装ペットフード製品。

実施形態 11

酸をさらに含む、実施形態 1 から 1 0 いずれか 1 つに記載の押出包装ペットフード製品。

実施形態 12

前記酸が 0 . 5 から 1 0 % の量で存在する、実施形態 1 1 に記載の押出包装ペットフード製品。

実施形態 13

前記酸が乳酸である、実施形態 1 1 または 1 2 に記載の押出包装ペットフード製品。

実施形態 14

動物における満腹感を達成させる方法であって、1 5 % 超から 3 0 % の水分、1 1 % から 4 5 %までの炭水化物、脂肪およびタンパク質、0 . 9 超の Aw、並びに 2 5 0 から 3 0 0 g / l の範囲の密度を有する押出包装ペットフード製品を、ペット動物に給餌する工程を有してなる方法。

実施形態 15

前記ペット動物が飼いイヌまたは飼いネコである、実施形態 1 4 に記載の方法。